



株式会社ヒガシトウエンティワン (9029)

個人投資家向けIRセミナー



ヒガシトウエンティワングループの ご紹介



■ 設立：1944年12月 ■ 本社：大阪市中央区
 ■ 代表者：児島 一裕 ■ 上場区分：東証二部

資本金 **10 億円**

売上高 **244 億円**
※2021.3月期/連結

従業員数 **1024 名**
※2021.10月時点/連結

3PL・総合物流サービス

最適なサプライチェーン構築へのトータルサポート・マネジメント



総務系物流・BPOソリューション

社内文書物流効率化や機密文書保管・リサイクルサービス



オフィス移転サービス

大規模オフィス移転からレイアウト変更まで、幅広いソリューション



ビル内デリバリーサービス

高層ビルの複雑な物流を制御し、快適なオフィス運営をサポート



PCキitting・IT関連サービス

機器導入から、システム部門のバックアップまでトータルサポート



介護用品レンタル・販売サービス

介護支援事業者様向けの福祉用具レンタル及び販売事業



「グループ6社」



創業～1970年代

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 経営基盤強化のため、日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1977年 駐車場事業を開始
- ・1979年 東京営業所開設し、首都圏へ進出



1980年～1990年代

- ・1982年 軽貨物自動車運送事業を開始
- ・1985年 ヒガシ運送サービス株式会社に社名変更
- ・1988年 埼玉県戸田市でヒガシトランクルームを開設し、ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 東京オペラシティでビル内デリバリー事業を開始



2000年代

- ・2002年 株式会社ヒガシトゥエンティワンに社名変更
- ・2003年 介護支援事業者（福祉用具貸与事業者）に福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場



2010年代～現在

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム株式会社をグループ会社化
- ・2017年 株式会社イシカワコーポレーションをグループ会社化
- ・2018年 ビル内デリバリー事業を株式会社FMサポート21に承継 / 株式会社トランスポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行 / ニッセイロジスティクスセンター東大阪を開設
- ・2020年 門真総合物流開設 / 事務所移転引越事業をヒガシオフィスサービス株式会社に承継



1 1968年に業界でいち早く“車両と荷物のマッチングサービス”（備車制度）を導入、協力会社を囲い込み

2 1996年に東京オペラシティビルにデリバリーセンターを開設、「館内物流事業」の先駆け

3 1986年にオフィス移転専門部署を設立。2020年に全国でも珍しいオフィス移転専門会社（ヒガシオフィスサービス株）として分社化

4 2016年にインフラ会社向けとしては珍しい、資材の購入・配給数の管理・調整業務を、2021年からは電設資材の仕入れ・販売業務（商社機能）をスタート

- ✓ 運送事業や倉庫事業を中心に様々な物流サービスを提供し、幅広い分野の大手優良顧客層が安定収益基盤となっている **（企業⇔企業の物流（BtoB）を主軸に展開）**
- ✓ **物流設計能力**を強みとし、関西圏から首都圏へ事業を拡大

幅広い分野の大手優良顧客




順位	顧客	売上高 (単位：百万円)
1	日本生命グループ	4,241
2	関西電力グループ	1,514
3	大手e-コマース会社	1,197
4	毎日新聞社グループ	626
5	中堅電器メーカー	546

上位10社売上占有率	43%
首都圏売上比率	37%

⇒ 大手優良顧客の多くは上位株主


独自性・競争力ある事業

オフィスサービス事業






- ・オフィス移転
- ・移転に伴う不要什器や備品の買取・廃棄
- ・赴任引越し

⇒ **認証・追跡システムを活用した万全のセキュリティ**




3PL事業



- ・輸配送
- ・物流センター運営・倉庫保管
- ・物流加工
- ・産業廃棄物管理

⇒ **長年の実績・ノウハウと800社超の協力会社**



ビルデリバリー事業



- ・ビル内デリバリー（館内物流）
- ・ビル内ショップの運営

⇒ **独自のELV・荷捌駐車場管理システム**




物流設計能力



複雑なモノの流れに対応した【人×倉庫×マテハン（ベルトコンベアや梱包機器等）×車両×システム】を最適に組み合わせる能力を表現した、当社グループの造語です。

■当社グループにとって「物流設計能力」とは・・・

1 企業間物流における諸課題を解決するもの

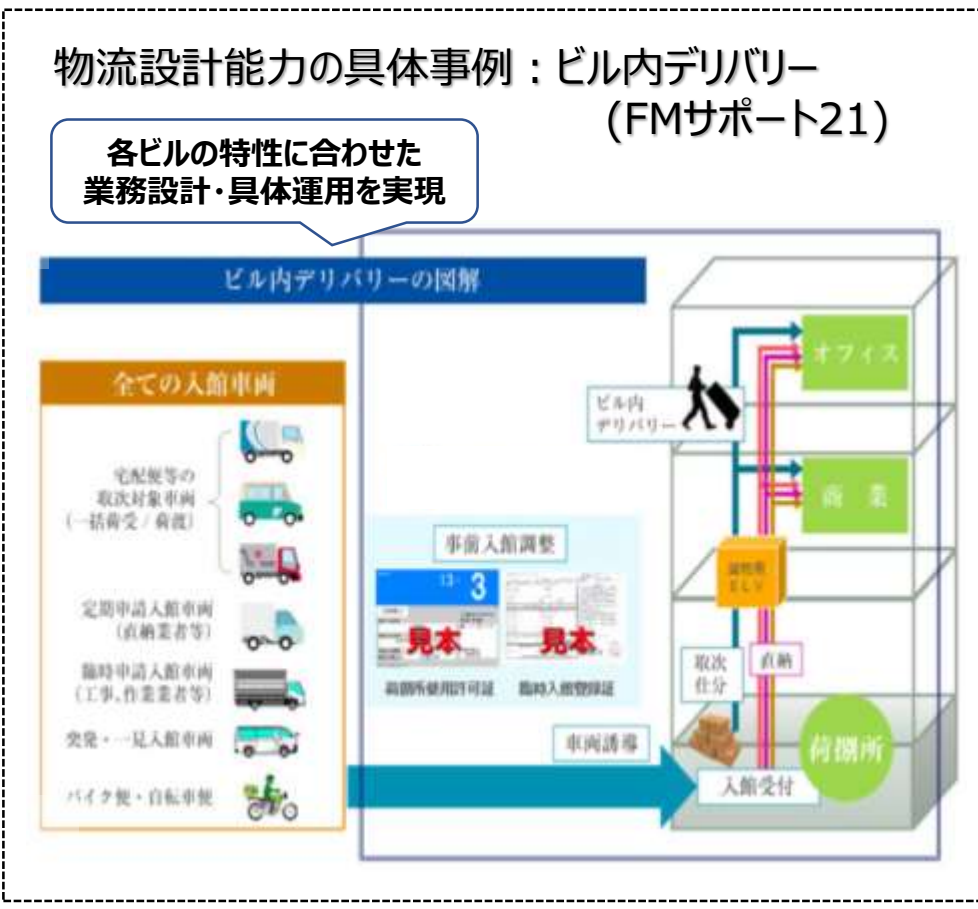
納期・円滑なサプライチェーンの構築・取扱商品の多様性（重量、機密性等）・コスト等々の最適化への対応

2 成長戦略の鍵

長年の実績に基づくノウハウがあり同業他社が短期間で模倣することが難しく、マーケット競争力の源泉に

3 当社の本質や伝統を表現するもの

当社グループは物流設計力をもって【物流コンサルティング×物流の実行＝最適物流を実現する会社】2,000社以上の企業様取引と、77年の実績



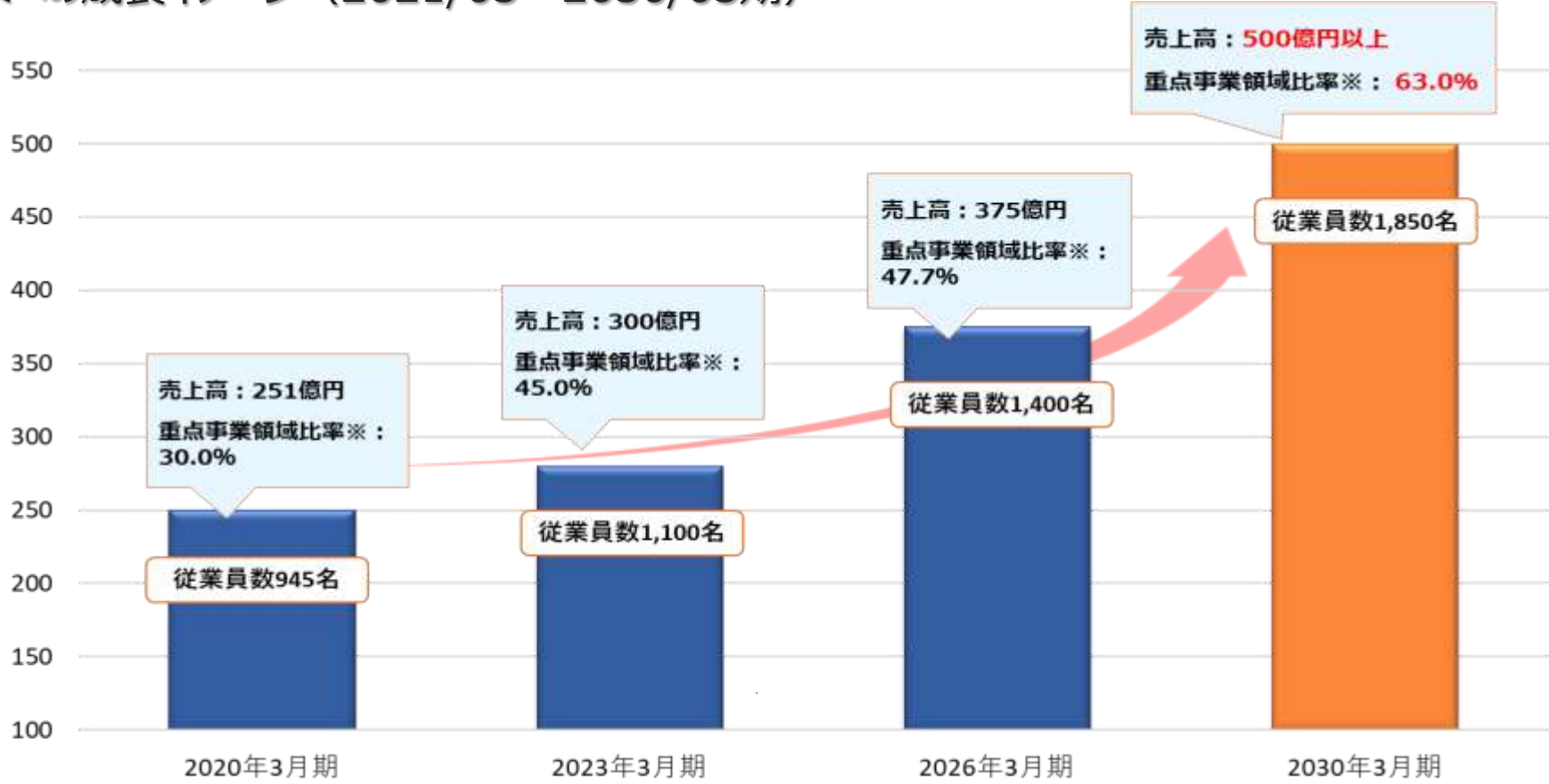
成長戦略

目指す姿： お客様に最高のサービスをお届けするために変革し続ける企業

■スローガン *Evolution for Customers*
 —— 全進で未来へ “シンカ” ——



■ 将来への成長イメージ (2021/03～2030/03期)



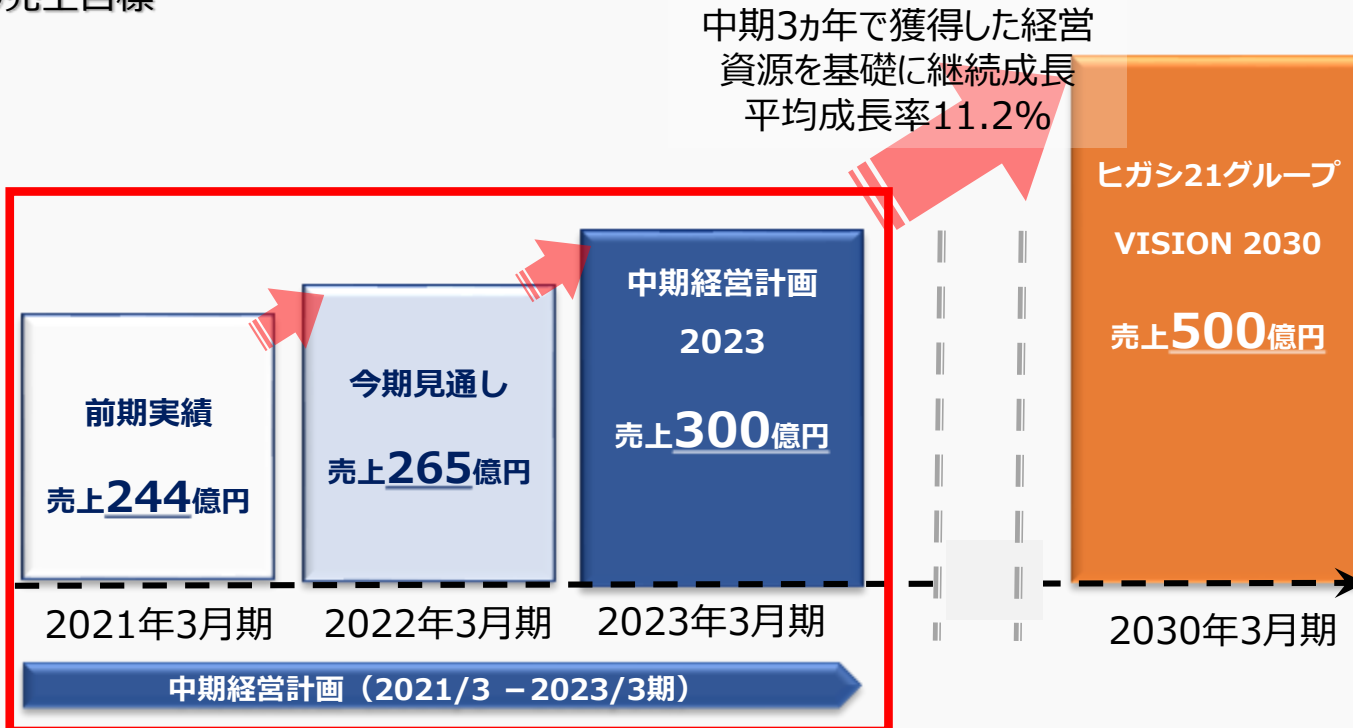
※重点事業領域比率：当社が定める重点事業（オフィスサービス事業、3 PL事業、ビルデリバリー事業、M&A）がグループ全体の売上に占める比率

✓ 中期経営計画2023の3年間は、長期ビジョン達成に必要な高い成長率を獲得するためのスタートアップ期間として位置付け

【計画のポイント】

- ・持続的成長を支えるシステム機能、人材育成機能、ホールディングス機能、コーポレートガバナンスの基盤整備に注力
- ・成長スピードを加速させるM&Aも含めた新規事業領域や重点事業領域への積極的な投資
- ・売上成長のための投資推進や積極的な株主還元を行うため、営業CFを重要視し指標化

①売上目標

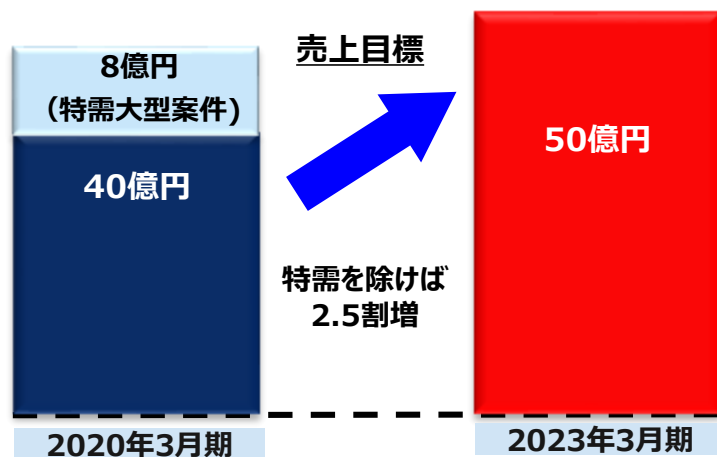


②その他の経営財務目標

- ①重点事業領域売上比率45%
(移転、3PL、ビルデリ、M&A)
- ②3年累計営業CF36億円
- ③ROE 6%以上

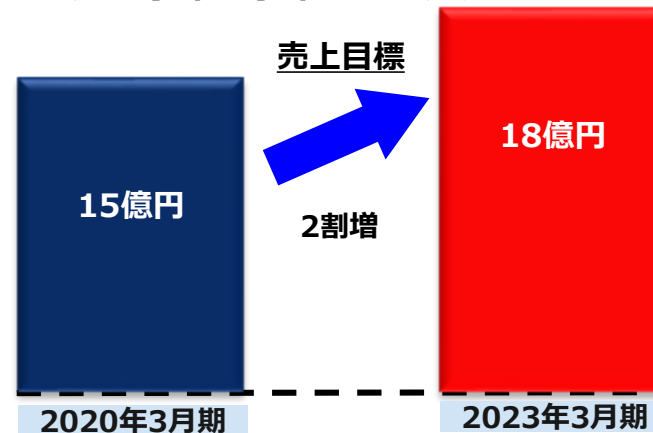
オフィスサービス事業

事業領域の拡大（移転・引越の多様化対応）



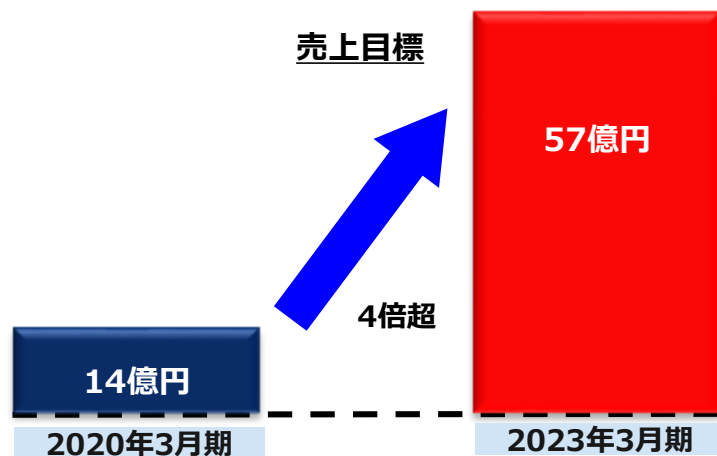
ビルデリバリー事業

ビルデリ事業の更なる推進に加え、
メール室事業を事業の柱に加える



3 P L 事業

コンビニ事業からeコマース及び
インフラ会社資材 3 P L へ重点を移行



M & A

ヒガシ21グループの輸送力、物流設計力、
ITを活用したサービス力などを生かし、
新規事業領域も含め重点事業領域を強化

- ◆単なる売上拡大ではなく、ヒガシ21グループの中長期戦略とのマッチングを重視
- ◆M&Aを専門的に行う事業開発部の人員増強
- ◆M&A後のPMIに有効なグループガバナンスを実行するためのホールディングス機能の強化

- ✓ 中期的な3PL事業強化の一環として、2023年4月大阪府茨木市宮島に北大阪ロジスティクスセンター（6,000坪）の開設を決定
- ✓ ヒガシ21としては、2019年10月のニッセイロジスティクスセンター東大阪、2020年7月の門真総合物流に続く新たな大型物流拠点開設となる

■ 完成イメージ



「北大阪ロジスティクスセンター」特設サイト

下記URL及びQRコードからご覧いただけます。



URL : <http://test.exe-creation.com/higashi21-kitaosaka02/>

■ 施設概要

所在地	大阪府茨木市宮島
建物延床 総面積	50,000m ² （15,000坪）
構造・規模	地上7階建 （倉庫部分4階のうち3・4階部分）
トラック バス	シングルランプウェイ（分離型） 片面34バス
竣工予定	2023年4月
設備等	事務所・休憩スペース・ 会議室等完備

- ✓ 2021年10月、ヒガシトゥエンティワン関電ロジネット事業部において、新たに関西電力送配電様向けの**資材調達3PL事業 (商社機能) を開始**
- ✓ 当事業は、[中期経営計画2023]で重点事業領域として掲げている、「3PL事業」における新規事業の位置付け

- 関西電力送配電様に代わり、当社が**“資材の仕入・販売 (納品) を行う商社ビジネス”を開始**
 - 物流費の削減・双方の契約・請求・支払等の煩雑な事務手続きの大幅な簡素化を実現
 - 関西電力送配電社給資材に関する管理業務の簡素化を実現

資材供給・納品、手続きの各社関係



- ✓ 2022年2月18日（金）山神運輸工業株式会社（神奈川県横浜市）のグループ会社化を発表
- ✓ 同社は創業70年以上、重量物輸送・エンジニアリング事業（機械据付・メンテナンス）に強み



物流からエンジニアリングまで


山神運輸工業株式会社

- ・売上高20億円・経常利益8,400万円（2021.6月期）
- ・一般貨物輸送・エンジニアリングが二大事業

共通する“「鋼材メーカー向け物流」でのシナジー”に加えて、

(山神運輸) ヒガシ21グループの物流設計力・営業網等の活用で、効率的な事業運営・事業拡大を実現

(ヒガシ21G) グループの重量物輸送力強化、海上コンテナ輸送やエンジニアリング事業等新たなノウハウを獲得

 **ヒガシ21グループ**

- ・売上高244億円・経常利益12.8億円（2021.3月期）
- ・「物流設計力」を強みに多様な物流サービス事業

【参考】山神運輸工業株式会社の概要

(1)	名称	山神運輸工業株式会社		
(2)	所在地	神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLACE馬車道6F		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 山野 英二		
(4)	事業内容	一般貨物自動車運送業、機械器具設置業等		
(5)	資本金	60百万円		
(6)	設立年月日	1952年5月8日		
(7)	大株主及び持株比率	大株主が個人であり、守秘義務契約を締結していることから開示を控えさせていただきます。		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はございません。	
		人的関係	該当事項はございません。	
		取引関係	該当事項はございません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
	純資産	168百万円	139百万円	191百万円
	総資産	975百万円	844百万円	901百万円
	1株当たり純資産	1,585円22銭	1,312円16銭	1,800円38銭
	売上高	2,183百万円	2,094百万円	2,085百万円
	営業利益	57百万円	47百万円	67百万円
	経常利益	63百万円	65百万円	84百万円
	当期純利益	35百万円	▲23百万円	57百万円
	1株当たり当期純利益	330円64銭	▲223円05銭	538円22銭
	1株当たり配当金	50円00銭	50円00銭	50円00銭

VISION2030：持続可能な企業活動（環境・社会・コーポレートガバナンス）の推進

【事業活動を通じたSDGs目標達成への貢献】

- ・物流効率化による省エネ・地域コミュニティの環境改善、配送業者の作業負荷軽減への貢献
- ・住みやすい都市・資源循環の促進に資する静脈物流の展開



■ ESGに関する具体施策・取組状況

環境

・低公害車導入推進

- 導入推進と意識啓発に向け、低公害車車両にステッカーを貼り付けし、運行
- 低公害車トラック10%以上導入目標を設定（2023年3月期）

・エコドライブの推進

- デジタルタコメーターの有効活用によるアイドリング時間の軽減

社会

・交通安全への取組

- 交通安全教室の開催
- こどもミュージアムPJの実施（絵画コンテスト・トラックラッピング実施）

・労働環境の整備

- 女性活躍リーディングカンパニー認証取得 ※最高位2つ星獲得
- 2022年2月「働きやすい職場認証」取得（対象：グループ5社）

・社会貢献活動への参画

- ヒーローズカップ（小学生ラグビー）協賛

（コーポレート）ガバナンス

・開かれた経営への取組

- 2019年指名委員会等設置会社へ移行

※ 指名委員会設置等会社はプライム移行会社で3.7%、スタンダード移行会社で0.7%に留まる

	人数	うち 社外	委員長 (議長)
取締役会	10名	6名	社内取締役
指名委員会	4名	3名	社外取締役
監査委員会	4名	4名	社外取締役
報酬委員会	4名	3名	社外取締役

⇒ 当社はSDGs 目標達成に向けた貢献が期待できると判断され、(株)三井住友銀行から『SDGs 推進融資』を受けております。(2020年12月、2021年12月)



ヒガシ21では、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを『ひまわりプロジェクト』と名付け、様々な活動に取り組んでいます。

こどもミュージアムプロジェクト



NPO法人ヒーローズ/ヒーローズカップ協賛



- ・低公害車推進プロジェクト
(車体貼付用ステッカー)



- ・女性活躍リーディングカンパニー
認証取得



2022年3月期 第3四半期決算・通期計画

- ✓ **売上高・経常利益は3Q累計で共に過去最高を更新**
→ コロナ禍による業績影響が前期よりも弱まったことも相まって3Q累計は大幅な増収・増益
- ✓ 業容拡大に加え、経費削減や業務効率化などを推進し、損益分岐点の引き下げを実現

【ご参考】

連結損益計算書概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	3Q累計	構成比	3Q累計	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	17,285	100.0%	19,630	100.0%	2,344	13.6%	24,436	100.0%
売上総利益	3,581	20.7%	4,169	21.2%	588	16.4%	5,062	20.7%
販売費および一般管理費	2,947	17.1%	3,097	15.8%	149	5.1%	4,039	16.5%
営業利益	633	3.7%	1,071	5.5%	438	69.3%	1,022	4.2%
経常利益	825	4.8%	1,216	6.2%	391	47.4%	1,287	5.3%
特別利益	3	0.0%	5	0.0%	1	33.5%	3	0.0%
特別損失	4	0.0%	1	0.0%	△2	△65.0%	240	1.0%
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	528	3.1%	800	4.1%	271	51.3%	666	2.7%

- 運送事業 ⇒ 事務所移転作業の増加や、GIGAスクール構想によるPCキッティング業務の受託等により、増収増益
- 倉庫事業 ⇒ 既存事業の物量回復や、e-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収増益
- 商品販売事業 ⇒ 関西電力送配電様向け資材調達3PL事業開始等により、増収増益
- ウェルフェア事業 ⇒ 福祉用具の在庫圧縮、拠点統廃合による人件費減少等により、増収増益
- その他 ⇒ ビルの建て替えに伴う駐車場事業縮小等により、減収減益

【ご参考】

セグメント別決算概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	3Q累計	構成比	3Q累計	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	17,285	100.0%	19,630	100.0%	2,344	13.6%	24,436	100.0%
運送事業	11,209	64.8%	12,237	62.3%	1,028	9.2%	16,277	66.6%
倉庫事業	4,728	27.4%	5,298	27.0%	569	12.0%	6,347	26.0%
商品販売事業	428	2.5%	1,246	6.4%	818	190.9%	571	2.3%
ウェルフェア事業	671	3.9%	696	3.5%	25	3.8%	891	3.6%
その他(※)	247	1.4%	151	0.8%	△96	△38.8%	348	1.4%
	3Q累計	利益率	3Q累計	利益率	増減額	増減率	通期	利益率
セグメント利益	1,864	10.8%	2,224	11.3%	359	19.3%	2,716	11.1%
運送事業	1,076	9.6%	1,186	9.7%	110	10.2%	1,679	10.3%
倉庫事業	676	14.3%	890	16.8%	214	31.8%	876	13.8%
商品販売事業	7	1.7%	32	2.6%	25	324.7%	10	1.8%
ウェルフェア事業	93	13.9%	107	15.4%	14	15.5%	129	14.5%
その他(※)	11	4.7%	6	4.3%	△5	△44.8%	21	6.1%

※ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場事業等を含んでおります。

- **オフィスサービス事業** ⇒ 事務所移転需要増加等により、増収
- **3PL事業** ⇒ e-コマース向け大型物流センターの本格稼働や、資材調達3PL事業開始等により、増収
- **ビルデリバリー事業** ⇒ コロナ禍でテナント企業のオフィス出勤率が低下、取次物量等が減少したこと等により、減収
- **基幹事業** ⇒ 前年同期のコロナ影響から回復し、増収
- **ITサービス** ⇒ GIGAスクール構想に伴うPCキッティング業務の受託等により、増収

【ご参考】

事業領域別売上高 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	3Q累計	構成比	3Q累計	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	17,285	100.0%	19,630	100.0%	2,344	13.6%	24,436	100.0%
オフィスサービス事業	2,496	14.4%	3,015	15.4%	518	20.8%	4,156	17.0%
3PL事業	2,001	11.6%	3,295	16.8%	1,294	64.7%	2,723	11.1%
ビルデリバリー事業	1,201	6.9%	1,184	6.0%	△16	△1.4%	1,617	6.6%
基幹事業	10,025	58.0%	10,409	53.0%	383	3.8%	13,697	56.1%
介護サービス事業	671	3.9%	696	3.5%	25	3.8%	891	3.6%
ITサービス事業	889	5.1%	1,028	5.2%	139	15.6%	1,349	5.5%
上記の内 M&Aによる売上高								
売上高	1,909	100.0%	2,091	100.0%	182	9.6%	2,573	100.0%

✓ 2022年3月期は増収・増益を見込む（2021年10月29日通期業績予想上方修正）

	2022年3月期 通期 実績（百万円）	前期比 増減率（%）
売上高	26,500	8.4%
営業利益	1,300	27.1%
経常利益	1,450	12.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	910	36.5%
1株当たり当期純利益 （円）	69.50	

✓ 2021年3月期は営業・経常増益で過去最高を更新

	2020年3月期 実績 (百万円)	2021年3月期 実績 (百万円)	前期比 増減率(%)
売上高	25,111	24,436	-2.7%
売上総利益	4,819	5,062	5.0%
売上総利益率	19.2%	20.7%	
販管費	3,822	4,039	5.7%
営業利益	996	1,022	2.6%
営業利益率	4.00%	4.20%	
経常利益	1,055	1,287	22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	691	666	-3.6%
1株当たり当期純利益 (円)	53.62	51.33	-
1株当たり純資産 (円)	648.2	685.17	-

■ セグメント別業績

	2020年3月期 実績 (百万円)	2021年3月期 実績 (百万円)	前期比 増減率(%)
売上高	25,111	24,436	-2.7%
運送事業	17,347	16,277	-6.2%
輸送サービス事業	10,738	9,659	-10.0%
オフィスサービス事業	5,121	5,000	-2.4%
ビルデリバリー事業	1,488	1,618	8.7%
倉庫事業	5,778	6,347	9.9%
商品販売事業	637	571	-10.3%
ウエルフェア事業	883	891	0.9%
その他	464	348	-25.0%
営業利益	996	1,022	2.6%
運送事業	1,835	1,679	-8.5%
倉庫事業	653	876	34.1%
商品販売事業	11	10	-9.6%
ウエルフェア事業	6	129	1812.2%
その他	68	21	-68.9%
全社費用	-1,578	-1,693	-

■ 貸借対照表・経営指標

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	前期比
資産合計	12,281	13,908	14,396	15,338	15,811	472
（流動資産）	5,885	6,915	6,931	7,771	8,052	281
（固定資産）	6,395	6,992	7,464	7,567	7,758	191
負債合計	5,130	6,335	6,539	6,961	6,897	-63
（流動負債）	3,829	4,329	4,532	5,194	5,338	144
（固定負債）	1,300	2,005	2,007	1,767	1,559	-208
純資産合計	7,150	7,572	7,856	8,376	8,913	536
（経営指標）						
自己資本比率	58.2%	54.4%	54.6%	54.6%	56.4%	1.8pt
ROE（自己資本当期純利益率）	7.7%	6.8%	7.6%	8.5%	7.7%	-0.8pt
営業利益率	3.4%	3.9%	3.8%	4.0%	4.2%	0.2pt

■ キャッシュフロー計算書

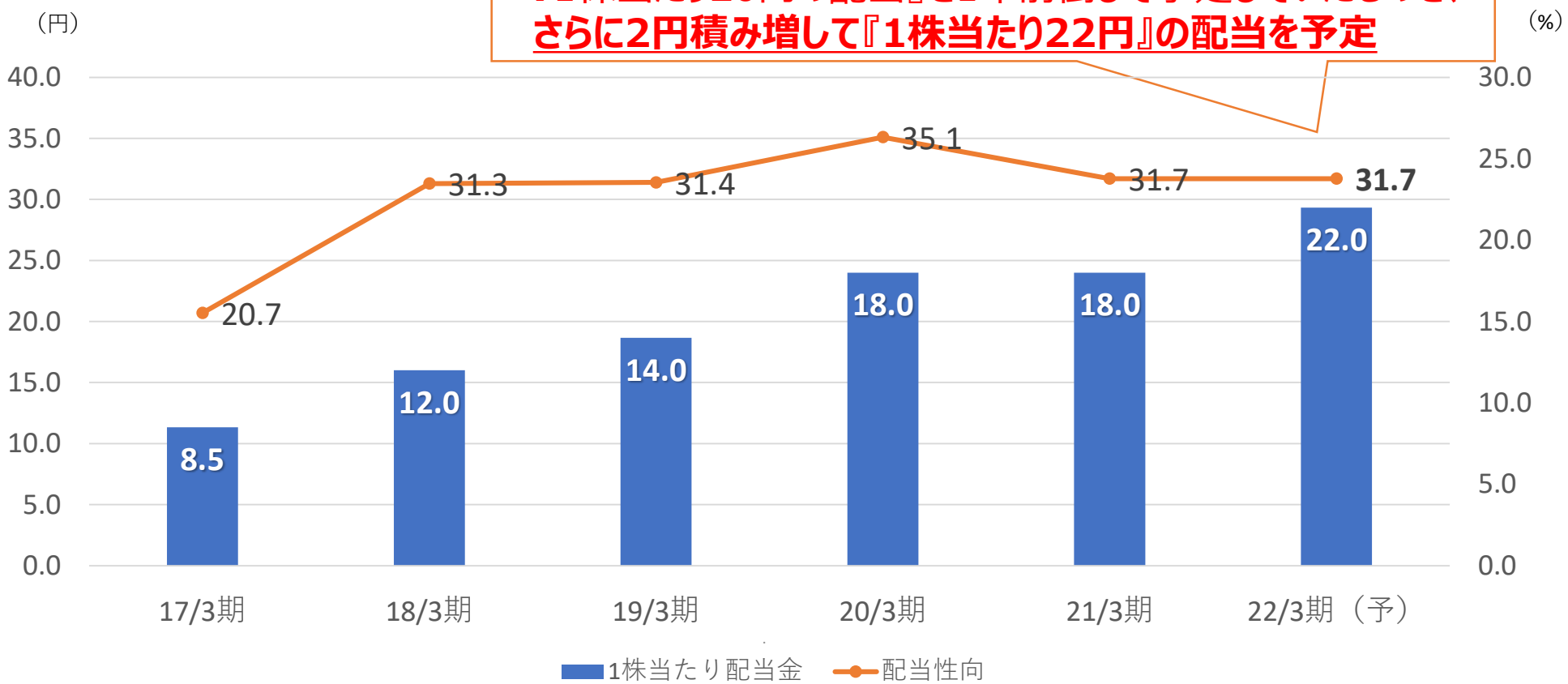
	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	724	857	955	1,297	508
投資活動によるキャッシュ・フロー	-187	-631	-633	-260	-534
財務活動によるキャッシュ・フロー	-331	348	-609	-420	-101
現金及び現金同等物の期末残高	2,289	2,864	2,577	3,194	3,068

株主還元

✓ 当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針です。

■ 1株当たり配当金・配当性向の推移

2022年3月期は、中期経営計画最終年度の目標である『1株当たり20円の配当』を1年前倒しで予定していたものを、さらに2円積み増して『1株当たり22円』の配当を予定



■ 制度内容

実施回数	毎年 1 回
基準日	毎年 9 月末日
優待内容	① 500株以上1,000株未満保有の株主 ⇒ <u>1,000円相当のクオカード</u> ② 1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ <u>2,000円相当のクオカード</u> ③ 2,000株以上保有の株主様 ⇒ <u>4,000円相当のクオカード</u>
長期保有特典	500株以上を1年以上継続保有の株主様 ⇒ <u>1,000円相当のクオカード</u> (毎年9月末日の株主名簿に同一の株主番号で2回以上連続して株主名簿に記載または記録された株主様)

■ 配当利回り

1,000株保有時の計算例 (2022年3月期実績 / 予想通りの配当 22円の場合)

(■ 投資金額 (時価) 632円×1,000株 = 632,000円)	【前提条件】 ・配当日は2022年6月：22円予想/株 ・株価は2022年1月31日基準：632円/株
■ 受取配当金 22円×1,000株 = 22,000円	
■ 受取株主優待 (クオカード) 2,000円	
合計 24,000円	

→ 株主優待込みの利回り：24,000円÷632,000円×100 = 3.79% (優待を除く配当利回りは3.48%)

1年以上保有の場合、長期保有特典として更に1,000円のクオカードを贈呈

ご参考： 株式平均利回り (2022年1月末時点) ※東京証券取引所公表資料
 東証一部の株式平均利回り 2.00% / 東証二部の株式平均利回り 2.24%





(注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>



その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

